

奈良学クイズ



新型コロナウイルス

戸田 博子

わかるかな～



【問1】昭和の初めに東大寺の高僧を頼って奈良に滞留し、その後『? ?』で芥川賞を受賞した作家は誰でしょうか。写真は、受賞作の本の表紙で、のところに作家の名前と題名が入っています。

【問2】次の文は、赤膚焼について解説しています。3箇所の下線部分の記述箇所は誤っています。正しい答えをお答えください。

天正年間(1573～1592)豊臣秀長が尾張国瀬戸から陶工の与九郎を招き、五条山で開窯させたのが創始というが、当時の史料記載や物品はない。天明6年(1786)大和郡山藩主・柳沢保通の保護を受け、住吉屋平蔵に任せて、試験窯が郡山大職冠町の内野六郎左衛門の屋敷内に築かれ、信楽の陶工・弥左衛門が4年間作陶したが、まだ名称はなかった。・・・。

この文章を読まれる頃、新型コロナウイルスの話が終焉していればいいなと思いながら書いています。

話は急に飛びますが、コロナウイルスという名を初めに聞いたのは、30年前でした。一匹のノラの仔猫を庭で拾いました。当時、ヒットしていた宮崎駿のアニメ「魔女の宅急便」にちなんでジジという名前を付けました。

雑種ながらシャム猫を連想させる姿、犬のようにボールを投げれば拾って持ってくる、走れば天井まで駆け上がり、サーカス顔負けの猫でした。

ある日、風邪をひいたかなという鼻水を出し、食欲が落ち、熱も39℃ぐらいありました。獣医さんでも風邪という診断で、薬をもらいましたが、食欲はなくなるばかり、寝ていることが多くなりました。

別の獣医さんのところで「猫潰瘍性大腸炎」と診断されました。これは常在菌のコロナウイルスが原因で、ほとんど感染しても、風邪の症状のまままで終わり元気になります。ただ、不運にもコロナウイルスが変異して免疫系に関与し、治療不可能になる猫がいるのです。それが、私のジジにおこったのです。

変異する原因は、今でもはっきりせず、ストレス説が有力だと言われています。

ジジは発症から、4カ月で死にました。

今回のコロナウイルスによる新型肺炎も、細菌性の肺炎と違って抗菌薬が効果を発しません。キャリアになっても発症しなかったり、感染しても重症化する人、軽くて治る人様々で、これは、それぞれの人の中でウイルスが変異しているのでは？と恐怖を感じます。

科学やIT技術がいくら発展しても、ウイルスは変異しながら、地球上で最後まで残るのか？いや、宿主がいなければ消滅するのか？

馬鹿な頭の中で考えているこの頃です。